

山梨県入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和3年5月25日 10時00分から12時00分まで 県防災新館 302 会議室 (テレビ会議の形式により実施)	
委員	森 一博 (山梨大学教授) 石垣 千秋 (山梨県立大学准教授) 片田 興 (山梨学院大学教授) 松野 範子 (一級建築士)	
審議対象期間	令和3年1月1日～令和3年3月31日	
総契約件数	282 件	(備考) 審議件数 ・一般競争入札 5 件 ・通常指名競争入札 1 件 ・随意契約 1 件
一般競争入札	262 件	
(総合評価)	210 件	
通常指名競争入札	18 件	
随意契約	2 件	
指名停止状況	0 件	
私的独占又は不当な取引制限に係る情報処理状況	0 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	審議した7件については、適正に処理されている。	

別紙

《抽出事案の審議》

1〔一般競争入札(総合評価落札方式)(事後審査型)〕

〔治山林道課-20-0007 林道井川雨畑線災害復旧工事(明許)〕

〈工事概要〉

災害復旧工事 L=58m W=4.0m

土工 2,299m³、擁壁工(大型ブロック) 845m²

擁壁工(L型) 59m³、吹付工(モルタル) 444m²

アンカー工 302本、コンクリート路面工302m²

防護施設工(ガードレール)66m

〈予定価格〉

244,801,700 円(消費税含む)

〈入札参加資格〉

- | | |
|-------------|--|
| ・本店所在地 | 管内 |
| ・競争入札参加資格 | 土木工事業A |
| ・企業の施工実績 | 1億円以上の道路工事。ただし、元請として請負い平成17年4月1日以降に完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。 |
| ・配置予定技術者の資格 | 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する者 |
| ・ISO認証義務 | 必要 |

〈質疑応答〉

Q) 本件は1者入札となっているが、参加者が少なくなる背景はなにか。

A) 現場が市街地の工事と比べて急峻な山地形の災害復旧工事であり条件が厳しい。また、技術者不足が課題となっている状況で今後の工事への影響を考慮して1者入札となったのではないかと。

Q) 参加者が少なくなることに対して、入札参加資格の設定は妥当であると考えてよいか。

A) 妥当だと考えている。

Q) 山梨県の場合は山間部も多く、条件の厳しい案件も出てこざるをえないとは思いますが、入札参加者を増やす方策はなにか検討しているか。

A) 本件では16社が入札可能となっており、少ないとは考えていない。

Q) 技術者の不足といった背景も重なっているということか。

A) そのとおりである。

Q) 毎回1者入札や落札率など同じような話になる。改善もみられない中で入札監視委員会の意義も含めて、どのように応札者を増やしていくか。本件も1者入札かつ落札率が99.84%であるが、どのように考えるか。

A) 技術者が少ないということがあるので、余裕をもった工期設定や取り組みは実施しているところである。本件については、林道の災害復旧工事ということで、他の工事に比べて利益率がでないということで1者入札になったのではないかと。

と推察している。なるべく多く参加してもらえよう取り組んでいる。

2〔一般競争入札（総合評価落札方式）（特別簡易型Ⅰ）〕

〔中北林環事-20-0262 上今井治山工事(明許)(余フ)(2補)〕

〈工事概要〉

流路工 L=215.5m

土工 V=2,242m³、ブロック積工 H=1.5m A=448m²、底張コンクリート V=293m³

NO.1 床固工 L=18.5m H=4.0m V= 88.2m³

NO.2 床固工 L=23.0m H=4.5m V=135.8m³

NO.3 床固工 L=22.0m H=4.5m V=138.7m³

帯工 4 基 V=11m³,

植生マット工 A=886m³

〈予定価格〉

73,835,300 円(消費税含む)

〈入札参加資格〉

- | | |
|-------------|--|
| ・本店所在地 | 管内 |
| ・競争入札参加資格 | 土木工事業A又はB |
| ・企業の施工実績 | 2千2百万円以上の河川・砂防工事。ただし、元請として請負い平成17年4月1日以降に完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。 |
| ・配置予定技術者の資格 | 不要 |
| ・ISO認証義務 | 不要 |

〈質疑応答〉

Q) 本件も応札可能業者が100者を超えているにもかかわらず、1者入札となっているが背景はなにか。

A) 治山事業の施工箇所は山梨県の地形が急峻で、河川、砂防、治山の中でも一番上流で、狭隘な勾配の大きい現場での施工となる。技術や安全管理などを総合的に勘案した結果、参加業者が1者となってしまったのではないかと推測している。

Q) 明許となっているが、4ページ目の資料に工期が記載されていない。工期を記載してもらいたい。

A) 工期は令和3年3月31日から令和4年3月14日までであるが、後日、4ページ目の資料を差し替えにより対応させていただきます。

3[一般競争入札（総合評価落札方式）（事前審査型）]

[道路整備課-20-0050（主）甲斐早川線 道路工事（一部債務）（余フ）]

〈工事概要〉

大型ブロック工

L=34m H=9.9~10.0m A=359m²

補強土壁工

L=66m H=17.2~19.5m A=856m²

カッパ沢盛土工 V=51,300m³

帯工 N=6基

〈予定価格〉

466,026,000 円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 (代表構成員及び構成員) 県内
- ・競争入札参加資格 (代表構成員及び構成員) 土木工事業A
- ・企業の施工実績 (代表構成員) 発注案件の主要工種5割程度であることから、補強土壁平均高さの1/2を設定し、高さ6m以上のコンクリート擁壁工（橋梁下部工を含む）の施工実績。ただし、元請として請負い平成17年4月1日以降に完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 (代表構成員) 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する者
- ・配置予定技術者の施工実績 (代表構成員) 完成時に監理技術者、主任技術者、担当技術者（完成時にCORINSに登録された者に限る）又は監理技術者資格者証を有した現場代理人（完成時にCORINSに登録された者に限る）として17年4月1日以降に「企業の施工実績」と同様の施工従事経験を有する者
- ・ISO認証義務 (代表構成員及び構成員) 必要

〈質疑応答〉

Q) 応札者が1JVだった背景は。

A) 現場が非常に遠い場所にあることも一因ではないか。新たに新設するトンネルをあける道路のため、甲府から見ると山の反対側であり、南側からずっと回り込んでいく必要があるような遠い場所である。現場は、大型ブロックと補強土壁工の複合構造物の施工だが、施工実績は一般的かつ汎用的な構造物であるコンクリート擁壁を問うており、ある程度入札参加資格として広くとれるようにしたものの応札してもらえなかった、というのが感想である。

Q) 県としては入札参加資格に配慮しながら入札者数を増やそうという努力をしているということか。

A) そのとおりである。

4[一般競争入札(総合評価落札方式)(事後審査型)]

[砂防課-20-0004 富士山監視カメラ更新工事(明許)(余フ)(2補)]

〈工事概要〉

- 可視カメラ更新 N=4基
- 赤外線カメラ更新 N=2基

〈予定価格〉

171,028,000 円(消費税含む)

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 指定なし
- ・競争入札参加資格 山梨県における電気通信工事の入札参加資格を有するもので、令和2年8月1日の直前に終了する事業年度を対象とした経営事項審査の総合評価値が1400点以上であること。
- ・企業の施工実績 元請けとして請負い平成17年4月1日以降に完成引き渡し済みの8千万円以上の電気通信工事の施工実績。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとする。
- ・配置予定技術者の資格 電気通信工事の監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する者又は同等以上の資格を有する者。
- ・ISO 認証義務 必要

〈質疑応答〉

- Q) 監視カメラの更新工事ということだが、これは他社が参加を見合わせる要素はなにかあるか。
- A) 推測の域をでないが、本件はもともと設置してあるカメラのカメラ部分のみの交換であり、その先のシステム等は既存のものであるため、現行システムとの接続の手間などを考えると、他社が手を出しづらかったのではないかと。
- Q) 既存のカメラの設置業者と今回の業者は同じということか。
- A) 結果として前回設置した業者と今回の業者は同じだった。
本件は製品を取り付けるというものであり、金額のうち9割がカメラの金額であるため、手間の割に利益が少なく、控える要因となったのではないかと。
- Q) 23社の中で県内業者はどれだけいるか。
- A) 県内の電気通信工事の入札参加資格者167社のうち、工事の規模と内容から事前に確認した同種工事実績のある電気通信工事の業者数は23社あるが、県内業者は0社である。
- Q) 精進湖は可視カメラも赤外線カメラもないがその理由はなにか。また、場所によって可視カメラや赤外線カメラがっていないところがあるが、その理由は。
- A) 精進湖については、精進湖からみたアングルと本栖湖からみたアングルがラップするので、どちらかに設置すればカバーできるためである。基本的にカメラの設置は富士山全景を見渡せる位置を選定している。赤外線についても、どこに設置すれば山梨県側を見渡すのに有効かなどで決めている。接続ルート等や他機関のカメラの位置関係も見ながら配置を検討している。

5〔一般競争入札（総合評価落札方式）（簡易型）〕

〔営繕課-20-0228 県営住宅貢川団地35号館全面的改善工事（一部債務）〕

〈工事概要〉

貢川団地35号館（鉄筋コンクリート造5階建、既存30戸、延べ面積 1657.96m²）を全面的に改修

- ・改修後戸数: 1LDK 8戸、2LDK 14戸
3LDK 4戸 計26戸
- ・エレベーター新設
- ・耐震補強工事
- ・屋根: シート防水
- ・外壁: 可とう形外装薄塗材E
- ・内装: 全面改修
- ・外構工事

〈予定価格〉

269,500,000 円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 県内
- ・競争入札参加資格 建築工事業A
- ・企業の施工実績 元請負として請負い平成17年4月1日以降に完成引き渡し済みの1億円以上の建築一式工事の施工実績。
- ・配置予定技術者の資格 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級建築施工管理技士又は同等以上の資格を有する者
- ・ISO 認証義務 必要

〈質疑応答〉

Q) 応札可能業者数が44者ある中で2者の参加、うち1者辞退となった背景は。

A) 推測だが、全国的に問題となっている技術者の高齢化に伴う不足や下請となる協力会社の確保の難しさが大きな原因だと思われる。また、本件の公告時期に県工事の多くが施工中だったことも原因ではないか。

Q) 辞退者は他の工事を受注したのか。

A) 辞退理由書によると、積算が予定価格を超過したためとあり、他工事を受注したかは不明である。

Q) 13ページの表「施工計画」欄の中に「品質確保」の項目がある。この点数が10点の配点がある中で0点となっている。2者参加申請のうち、1者が辞退したことから、残りの1者にせざるを得ないとは思いますが、他の業者に代えることができないということの弊害が端的にこの資料に表れている。この点をどのように考えるか。

A) この点についての業者からの提案をみると、トータルで言えば品質確保については一般的なものであり、現地条件を踏まえた適切ではあり、重要な項目も記載されている、工夫はみられるが得点には至らないため、0点となっている。

Q) 0点でもかまわないということか。

A) 参加資格の中で業者の参加可能な条件を満足しており、施工上は問題ない。

Q) では、問題ないという証拠を次回提出してもらいたい。入札監視委員会の審議の中で品質確保の項目で0点を出していながらもかまわないという発言はわかりかねる。

A) かまわないという言い方は異なる。年度で施工計画の評価をしており、いくつもの工事の中で評価すべき工事を決めている。その中で、今回の評価はまるきり0だったというわけではないが、結果として0点だったということである。

Q) 入札監視委員会は記録が残るため、次回根拠・エビデンスをしっかりと提示してもらいたい。

A) 承知した。適正な評価の結果だと考えている。

6〔通常指名競争入札〕

〔**峡東農務事 20-0086 釈迦堂地区 農道付帯工事**〕

〈工事概要〉

付帯工 一式

水路工 L=89.41m

安全施設工 一式

〈予定価格〉

9,768,000 円（消費税含む）

〈指名業者選定の基準〉

1. 土木一式工事の入札参加資格を有し、業者状態が正常で納税状態が完納であること。
2. 地理的条件
3. 技術的特性

Q) 5者の指名中、応札が2者、辞退が2者とのことだが、辞退の理由はなにか。

A) 辞退理由を聞いていないが、技術者の不足が大きいと考えている。

Q) 本件工事の内容からいえば、地域性が重要ということか。

A) 指名選定要領では、地理的条件という項目があり、それに基づいている。

7〔随意契約〕

〔中北農務事-20-0155 龍地地区 龍地ため池改修工事その3(明許)〕

〈工事概要〉

堤体改修 L = 1 1 2. 9 m

転落防止柵 L = 1 3 3 m、敷砂利 A = 2 1 3 m²

〈予定価格〉

17,655,000 円(消費税含む)

〈質疑応答〉

Q) 本件は至急の工事ということもあり、2 期工事の業者と随意契約しているが、1 期目や他社との随意契約は難しかったのか。

A) 1 期目も同じ業者だった。

Q) 1 期も 2 期も通常の競争入札の結果、同じ業者だったということか。

A) そのとおりである。

《その他》

- 今回の審議を通して、意見の具申、勧告を県に対して行うような事案はあるか。
- 先程の審議の中で、中北林務環境事務所の案件については、次回までに工期の入った資料に修正をお願いする。
営繕課の案件については、評価調書の品質管理の0点部分について、問題がないかということについてわかるような資料をお願いする。
この点について、委員各位もよろしいか。
- 異議なし
- それ以外については、入札者数を増やすことの重要性について意見が出たが、それについては県も苦労しながらも考えている、あるいは一部、入札者数を増やすための対応も説明があった。
- その他特に意見なし

以上